

令和 8 年度「在南米・在北米被爆者健康相談等事業」派遣団医師等の 知事面談について

1 概要

在南米・在北米被爆者の健康保持と増進に資することを目的に、広島県が国から受託し、広島県医師会等の協力を得て実施する在南米・在北米被爆者健康相談等事業について、派遣団医師等が、出発にあたり知事と面談する。

2 日時

令和 8 年 9 月 30 日（水）17:00～17:15（於：北館 2 階第一応接室）

3 面談者

- 松村 誠（団長） 広島県医師会会長、松村循環器・外科医院理事長
- 檜山 桂子（団員） 広島県医師会常任理事、福原医院院長
- 辻 恵二（団員） 広島県医師会常任理事、広島赤十字・原爆病院 第二消化器内科部長
- 神谷 研二 HICARE 会長、放射線影響研究所理事長

※ ロサンゼルスで、10 月 9 日に、現地で実際に被爆者に接する医師等を対象に HICARE 主催の「現地被爆者医療研修会」を開催。

4 次第

- 松村団長あいさつ
- 神谷 HICARE 会長あいさつ
- 知事あいさつ

※ 終了後写真撮影を行います。

【令和 8 年度在南米・在北米被爆者健康相談等事業】

- ① 派遣期間： 10 月 8 日～10 月 18 日
- ② 派遣都市： ロサンゼルス、サンパウロ
- ③ 派遣医師： 松村 誠（LA・SP）[再掲]
檜山 桂子（LA・SP）[再掲]
辻 恵二（LA）[再掲]
白髭 浩之（SP）日本赤十字社長崎原爆病院 医師
- ④ 行政職員： 広島県健康福祉局長ほか 計 4 名（LA・SP 4 名）
※ LA：ロサンゼルス、SP：サンパウロ